

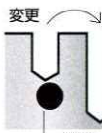
施工Q&A

Q.1

鉄筋に干渉する

①位置変更

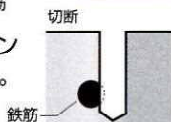
アンカー筋の取付け位置の変更が可能であれば、別位置に再穿孔を行います。



A.1

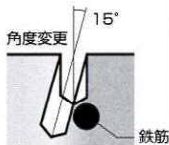
②鉄筋切断

鉄筋切断が可能であれば、ダイヤモンドコアードリル等で鉄筋を切断します。



③角度変更

鉄筋がさけられるだけドリルを傾けて(最大15°)斜め穿孔を行います。なおこの場合樹脂量が不足し、樹脂がコンクリート表面にあふれない場合は、カプセルの重ね打ちを行ってください。



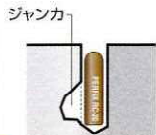
Q.2

穿孔作業でジャンカが見つかった

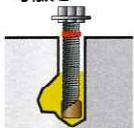
ジャンカの程度が比較的軽微な場合は、コンクリート表面に樹脂があふれるまでカプセルの重ね打ちを行ってください。



①カプセル挿入



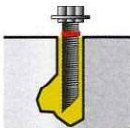
②アンカーボルト埋込み・攪拌・引抜き



③カプセル追加挿入



④アンカーボルト再度埋込み



ジャンカ

Q.3

水中での施工はどうすればいい?



水中・海中や冠水状態での施工の場合は孔内の粘土状に残ったドロや切粉を真水で十分に洗い流してから打込みを行ってください。なお水中での硬化時間は長くなります。養生を充分行って下さい。

Q.4

埋込み深さが標準よりも小さい



①コンクリート表面からはみ出たカプセルをアンカー筋で割ってから通常通りの施工を行ってください。
②必要樹脂容量を計算して空隙部に樹脂が満たすことが確認できれば1ランク下げたカプセルを使用して施工を行ってください。
※最低でもアンカー筋の5倍程度の穿孔は行って下さい。
※但しいずれの場合も強度は標準埋込み深さの場合に較べて低下します。

Q.5

埋込み深さが標準よりも大きい



必要樹脂容量を計算して必要本数分カプセルを孔内に挿入するか、重ね打ちを行ってコンクリート表面に樹脂があふれる事を確認して下さい。

注意事項

- 樹脂が皮膚に付着した場合は、希に炎症をおこすことがありますので、速やかに取り除き石鹸でよく洗浄して下さい。
- 万一樹脂が目に入った場合は直ちに水で十分に洗い流し、直ちに医師の診察を受けて下さい。
- 施工後の溢れた樹脂には破砕したガラス管が混入しています。除去する場合はケレン等を使用して行って下さい。
- 上項を防止するためにも必ず保護具・保護眼鏡等着用の上、施工を行ってください。カプセルを火気に近づけないで下さい。

- カプセルは冷暗所に保管して下さい。特にカプセルは高温場所、紫外線を嫌います。施工直前でも直射日光に当てないで下さい。また真夏の車内に放置しないで下さい。
- 孔内にカプセルを挿入する前に樹脂に流動性があるか確認して下さい。使用期限内でも樹脂の流動性がない場合は使用できません。
- 施工方法・施工仕様は必ず順守して下さい。守らないと、場合によっては性能が著しく低下することがあります。使用するコンクリート等の母材は健全なものを使用して下さい。ひび割れ・ジャンカ等の影響により性能が低下することがありますので注意して下さい。
- 使用目的に応じて安全率を考慮して下さい。(技術資料参照)

※製品改良の為、予告なく仕様を変更することがあります。

JCAA正会員

製造元

NP エヌパット株式会社

〒552-0022 大阪市港区海岸通4丁目4-10
TEL06-6576-5101(代) FAX06-6576-5103

H P <http://www.n-pat.co.jp>

E-mail info@n-pat.co.jp

販売店